

第9期 甲斐市男女共同参画推進委員会活動報告



笑顔増す たがいを認める 新時代

甲斐市男女共同参画推進標語 中学生の部 令和4年度 最優秀賞

認め合う 男女平等 多様性

甲斐市男女共同参画推進標語 中学生の部 令和5年度 最優秀賞



目次

ジェンダー平等とSDGs(部会活動)	・・・ 1～2
生理の貧困(部会活動)	・・・ 3～4
啓発活動	・・・ 5
学習会報告	・・・ 6
LGBTQ+研修報告	・・・ 7



ジェンダー平等と SDGs

部会活動報告



甲斐市ウェブサイト QR コード

ジェンダー平等やSDGsという言葉はよく耳にしますが、詳しくは知らない・・・という人がいるのではという思いから、このテーマに着目しました！

SDGsの目標達成への取り組みから男女共同参画社会が推進されることを願って、リーフレットを作成しました。

リーフレットは、市ウェブサイトからダウンロードできますが、主な内容を紹介します。

ジェンダー平等
って何？

性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5 ジェンダー平等を 実現しよう



ジェンダー平等は、SDGsのすべてのゴールに関わっています！

SDGs(Sustainable Development Goals)とは

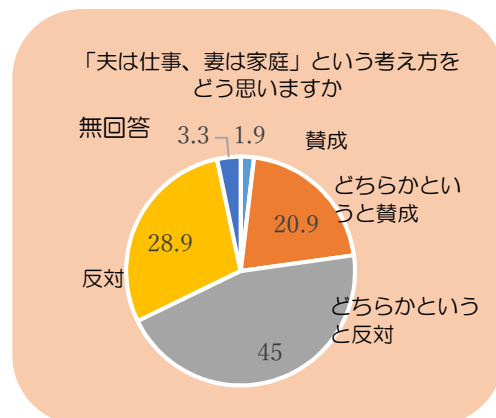
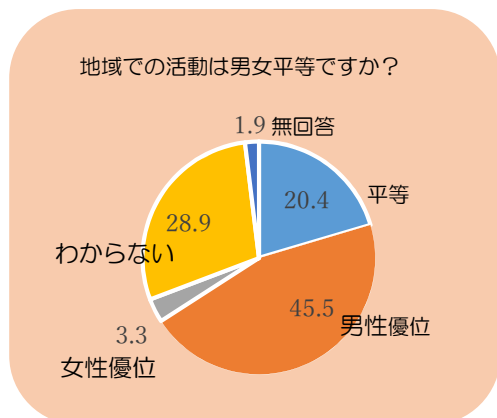
2015年の国連サミットで採択された「持続可能な社会・経済・環境」を目指す、世界共通の目標です。

2030年に目標期限を設け、17のゴールと169のターゲットにすべての国が取り組むことを約束しています。

私たち推進委員会が行ったアンケートを元に、みなさまの声をデータ化しました。
ジェンダー平等について、自分の問題として考えてみてください。

甲斐市のジェンダー平等の現状は？

市民の男女共同参画社会推進に関する現状を把握するために、令和4年度に実施したアンケートでは「地域での活動は男女平等ですか」について「男性優位」が45.5%でした。「夫は仕事、妻は家庭という考え方をどう思いますか」については反対が73.9%でした。（どちらかというとも反対も含む）



私たちの住んでいる甲斐市ではどんな取り組みをしているの？



具体的な取り組みを知ること
で現状を把握しようと、甲斐市の
取り組みを調べてみました。

調査時にはまだ検討中でしたが、令和6年度から双葉中学校と竜王北中学校でパンツスーツタイプの第三の制服が導入されました。性の多様性への理解が広まると良いですね！

甲斐市内の小学校では10年以上前から、中学校では令和4年度から男女混合名簿を使用しています。

男女混合であることは、男女平等意識の育成や多様な性の個人を尊重するために重要です。

また、アンコンシャスバイアスの解消にもつながります。

※アンコンシャスバイアスとは…自分自身では気づいていないものの見方や考え方の偏りのことです。

「無意識の思い込み」ともいいます。

甲斐市男女共同参画推進委員会より

今回の活動を通して幅広い世代との意見交換をしました。

学校等でジェンダー平等の教育を受けるなどしてすでに知識を持っている世代と、教育の機会が得られていない世代の差がある事が分かりました。

年齢層による知識の違いを互いに理解しながら、誰もが共存しやすい世の中になることを私たちは願っています。

【生理の貧困】部会活動報告

※令和5年度甲斐市男女共同参画推進委員会作成リーフレットより抜粋

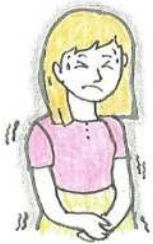
みんなで考えよう！生理の貧困

～お互いの理解を深めるために～

女性が初潮を迎えてから閉経するまでの期間は平均で35～40年間。毎月5日間は生理期間とすると、なんと生涯で約6年9ヶ月間は生理と付き合うことになります。

生理とは？

出血を伴って子宮の膜が体外に排出されること。
その時に子宮が収縮するので生理痛になる。
※生理痛には様々な症状があり、また個人差もあります。



生理中はお腹が痛かったり、
腰が痛くて動きづらいの

体がだるくて起き上がれなかったら、お母さんに「生理ぐらいで」って言われちゃったの…

テスト期間中に生理があたっちゃって勉強に集中できなくて悔しかった！！



※引用元：学校での生理休暇
(著者 室橋祐貴 氏)



生理についてあなたは思う？

～男女共同参画推進委員で考えてみました～



自分は生理痛が軽く娘が痛がっているのを理解してあげられなかった…



小さい頃からの性教育が必要だと思う



生理の時、どんな言葉をかけて良いか分からない…



生理について正しい理解はされているの？



生徒たちには生理休暇がなく試験の時に成果を発揮できない

生理にかかるお金



生涯でかかる費用

約 **40** 万円 !! (1ヶ月あたり約500~1200円)

一般的な例

- ・ナプキンなどの生理用品
- ・1~3日間は鎮痛剤を使用(スマルナ調べ)
- ・生理の時に下腹部痛に悩んでいる人は、92%!!



医療・衛生面

- ・ナプキンを適切に変えないことで、感染症になる可能性があります。
- ・月経の痛みが辛いときは子宮内膜症などの疾患が隠されている場合があります。婦人科などへ相談してください。

甲斐市は高校3年生まで
医療費窓口無料だよ!!



生理の貧困

～経済的な理由で生理用品や痛み止めなどの薬が買えない～

- 生理用品の入手に困っている人とは…
 - ・年齢別では10~20代 ・世帯収入別では300万円未満が多い(国の調査)
- 困った時の対処法
 - ・ナプキンなどの長時間利用やティッシュなどで代用
 - その結果、70%以上の女性がかぶれやかゆみなどの病状に悩まされる(国の調査)



日本では生理を「恥ずかしい」「隠すべき」ものだと考える風潮があり、社会全体の理解が不十分です。

今すぐ私達にもできること!!



- ①正しい知識を持つ
- ②身近な人と共有する
- ③支援団体に生理用品やお金を寄付する

※生理の貧困について専門家の意見
(引用元:朝日新聞社)



甲斐市男女共同参画推進委員会より

これまでタブー視されてきた生理について取り上げることで、理解を深めてほしいとあえてこの課題に取り組みました。生理の貧困とは、経済的貧困だけでなく身体的、精神的な貧困も含まれています。ジェンダー平等の立場に立って「みんなで考える」ことが、誰もが輝く未来への第一歩だと私たちは思っています。

啓発活動



デートDV講演会

DVとは、配偶者や交際相手などからふるわれる暴力のことです。10代～20代の若い世代間でも交際相手からの暴力があり、これをデートDVと言います。

推進委員会では、中学生にDVに対する正しい知識・判断を身につけてもらうため、毎年1校で講演会を開催しています。お互いを思いやり、平等で対等な関係を築き、力の暴力だけでなく、精神的、経済的な暴力もなくしていくことを伝えています。

第11回 竜王北中学校 令和4年11月29日（火）

第12回 竜王中学校 令和5年12月15日（金）

【講師 女性の人権サポートくろーばー 青柳明美氏】



アンケートから

- ▶ デートDVについて知ることが出来て良かった。
- ▶ 周りで困っている人がいたら相談にのってあげようと思った。
- ▶ 男女ともに対等であることを学んだ。
- ▶ 困ったときはしっかり助けを求めたい。
- ▶ 相手を尊重することが出来る関係であることが大切だと思った。



親子で学ぶ防災教室

防災をテーマに、家族で助け合うことの大切さを感じてもらい、家庭の中から男女共同参画を進めていくため「親子で学ぶ防災教室」を開催しました。

令和5年3月4日（土） 竜王北部公民館

【講師 リズムオブラブ主催 渡辺光美氏】 参加者21名



子どもの料理教室

子ども達が料理の楽しさを知ることによって家事をするきっかけとなり、家事を分担することを目的として「子どもの料理教室」を実施しました。

令和6年1月13日（土）

参加者：小学4年～6年生 16名

【講師 健康増進課管理栄養士】 敷島保健センター

メニュー：チョコプリン・肉だんご汁・デコいなり



学習会報告



01

令和5年6月16日開催 学習会「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み・偏見)」
講師(一社)山梨県消費者市民社会推進協議会会長 本田万壽男 氏

私たちは無意識のうちに他者を自分のモノサシに当てはめようとし、それに合わない、というだけで差別、蔑視、軽視してしまう傾向があります。性別や障がいなどで決めつけるのではなく、その人の特性や個性に目を向け、柔軟な考えをもって受け入れ、比較ではなく、高めあえるパートナーになることだということを学びました。



02

令和5年7月14日開催 学習会「ギャップを越えていく」
講師 甲斐市議会議員 若尾彰子氏



令和4年4月に初当選された若尾氏をお招きしての学習会は、ご自身が経験されたワンオペ育児の大変さ、仕事との両立の厳しさなどをはじめ、議員を目指したきっかけなどを伺いました。当選までに様々な困難があったこと、また議員活動が続ける上で感じたジェンダーギャップについてもお話をしていただきました。現在2名いらっしゃる女性議員のご活躍は多様性を認め合える甲斐市にとって必要な存在であると実感し、今後の活動に活かされる学習会となりました。

03

令和5年9月21日開催 講演会「実践!男女共同参画がもたらす5つの効果」
講師 株式会社山梨福祉総研 小林 正樹氏 小尾 友教氏

男性の育児休業取得の取り組み例を学びました。男性の育児参加により子育ての大変さが理解され、子どもの成長を共に喜び合えます。取得を促進するためには制度の情報提供や働きやすい職場作りが大事であると思いました。



LGBTQ+ 研修報告

性の多様性への理解を深めましょう

令和5年10月23日に、七崎良輔さんをお招きし、ゲイ当事者の声を聞く会を開催しました。地元でパートナーシップ制度が導入されたことで、七崎さんのお母様は息子がゲイであることを受け入れられたことなど、当事者の体験を聞かせていただきました。

11月1日には、「山梨県パートナーシップ宣誓制度」がスタートし、12月1日には、甲斐市でも県と連携協定を締結しました。多様性の理解により、当事者はもちろん、家族や友人も救われます。この制度が、理解増進への一歩となることを願っています。



意識変え

男女で活躍

平等社会

甲斐市男女共同参画推進標語 一般の部 令和4年度 最優秀賞

男女の個性

認めて広がる

参画の輪

甲斐市男女共同参画推進標語 一般の部 令和5年度 最優秀賞

編集：第9期甲斐市男女共同参画推進委員会（任期：令和4年8月～令和6年7月）

委員長 雨宮 優

【ジェンダー平等とSDGs部会】

【生理の貧困部会】

副委員長 廣瀬 俊江
委 員 穴水 剛 内松 太一
太田 有咲 齋藤 美子
塩沢 正行 末木 伸夫

副委員長 弓田 仁美
委 員 阿部 水穂 高橋 順子
武井 良二 三井 亮
山本 紘治 依田 那津希

事務局 甲斐市役所生活環境部市民活動支援課

〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610番地

TEL:055-278-1704 / FAX:055-276-7214

E-mail: shiminkatsudou@city.kai.yamanashi.jp

発行：2024年7月